平成三十年　第十三期くまもと俳句ポスト

第十三期開函

　日本伝統俳句協会評議員　　井芹　眞一郎　選

**特選**

復活ののかがやくかな　　　　　　 　熊本県熊本市　　　　野﨑一雄

【講評】

　四月二十八日、地震で落下した熊本城の鯱が二年振りに完成して天守閣に輝き、見物客からは一斉に歓声が上がった。山々には若葉が満ちて明るい夏の到来を感じさせる季節に相応しい「立夏」の季題を生かして作者の前向きな心情がうまく語られている。

**わが輩通り賞**

いにしえの戦の跡や寒椿　　　　　　　　　　福岡県久留米市　　　中村英之

**入選**

冬ざれの語り継がれし田原坂　　　　　　　　福岡県小郡市　　　　中村美由紀

大阿蘇の風を束ねて野火猛る　　　　　　　　熊本県熊本市　　　　佐藤誠吾

水満ちて桜のうつる水前寺　　　　　　　　　千葉県松戸市　　　　田中昌子

**佳作**

風鈴や安政町に八雲立つ　　　　　　　　　　熊本県熊本市　　　　尾野会厘

震災地肥後芍薬が癒しけり　　　　　　　　　熊本県熊本市　　　　林良章

街角に小楠の碑や風薫る　　　　　　　　　　熊本県熊本市　　　　平川礁舎

紅梅や水前寺富士立上がる　　　　　　　　　熊本県熊本市　　　　福原博

手水舎の新緑掬ふ柄杓かな　　　　　　　　　熊本県熊本市　　　　鶴田信吾

田原坂桜に秘むる歴史あり　　　　　　　　　熊本県熊本市　　　　久光有子

大観峰雲海望む阿蘇の空　　　　　　　　　　大阪府豊中市　　　　吉田昴平

漱石の足あとたどる水前寺　　　　　　　　　福岡県北九州市　　　楠根はるえ

句碑ひとつ釣耕園の青葉闇　　　　　　　　　熊本県熊本市　　　　坂口美穂子

漱石居明治を語る夏木立　　　　　　　　　　熊本県熊本市　　　　山﨑綾子

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 投句総数　　二七一句

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 市外　　　　一三二句

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 市内　　　　一三九句

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　開函日　 平成三十年六月三十日